

科目名 (科目番号)	画像検査学実習 (時間割参照)	教員名 飯田 典子 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要			生理機能検査の中で、超音波検査とMRI検査について実習する。超音波検査としては、腹部、心臓、体表、血管の検査を実習し習熟する。各検査機器の構造と取扱い法、患者対応、安全対策、インフォームドコンセントなどを理解する。また、検査結果の解析と評価ができる能力を養い、疾病との関連性や画像解析の知識を身につける。				
目的・目標			目的:超音波検査の検者・被検者、MRI検査の被検者を体験し、各検査法について学ぶと同時に、検査の安全管理や患者対応などについて理解する。また、各自がパワーポイントの発表資料を作成し、プレゼンテーションを行える力をつける。 目標:①超音波検査、MRI検査について、検査の目的や測定法を理解し、説明できる。 ②分かりやすいプレゼンテーションを行うことができる。				
準備学習			毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。				
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション	到達目標:正常および異常画像の特徴とプレゼンテーション法について理解する。 学習内容:画像検査の正常および異常像の概略、パワーポイント、プレゼンテーション				
	2	腹部超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、正常像および異常像の特徴を理解する。 学習内容:腹部臓器(肝臓・腎臓・胆嚢・膵臓など)の正常像の描出技術、異常像の特徴				
	3	心臓超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、正常像および異常像の特徴を理解する。 学習内容:心臓のB・Mモードおよびドブラ法による正常像の描出技術				
	4	体表・血管系超音波検査	到達目標:正常像の描出ができ、正常像および異常像の特徴を理解する。 学習内容:体表(甲状腺、乳腺など)の描出技術、血管(頸動脈、下肢静脈など)の描出技術				
	5	MRI検査	到達目標:頭部MRI検査の正常像および異常像の特徴を理解する。また、検査前の患者対応やインフォームドコンセントを理解する。 学習内容:T1強調画像、T2強調画像、FLAIR画像、脳の解剖、頭頸部血管、脳梗塞				
	6	プレゼンテーション (腹部超音波検査)	到達目標:臓器の特徴・描出方法がプレゼンテーションを通じて理解する。 学習内容:腹部臓器の描出技術(解剖像・臓器位置・超音波装置の表示方法・臓器描出技術など)や画像解析を含めてプレゼンテーションし、内容・質疑応答を通して学習する。				
	7	プレゼンテーション (心臓・体表・血管系超音波検査)	到達目標:臓器の特徴・描出方法がプレゼンテーションを通じて理解する。 学習内容:心臓および血流、表在臓器、血管の描出技術(解剖像・臓器位置・超音波装置の表示方法・臓器描出技術など)や画像解析を含めてプレゼンテーションし、内容・質疑応答を通して学習する。				
	8	プレゼンテーション (MRI検査)	到達目標:頭部MRI検査についてプレゼンテーションを通じて理解する。 学習内容:MRI検査の表示法や画像解析、疾患との関係をプレゼンテーションし、内容・質疑応答を通して学習する。				
成績評価の方法・基準			期末試験(50%)＋実技試験(50%)で評価する。				
教科書			最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版		東條尚子・川良徳弘 編著		医歯薬出版
参考図書			生理機能検査学実習書		(一社)日本臨床検査学教育協議会		医歯薬出版
教員からのメッセージ			パワーポイントによる異常画像について、しっかりメモをとること。 プレゼンテーションでは、実習で記録した画像、参考書、ノートなどを引用し誰もが分かり易いパワーポイントを作成し、分かり易く自分の言葉で発表すること。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。				